

くめじま

議会だより

2017.9.1

No.61



「久米島西中・騎馬戦と木綿花節(写真上2点)
球美中・組体操とエイサー(写真下2点)」

日時：平成29年7月2日(日)

場所：久米島西・球美中学校運動場

久米島の人口・世帯数(2017年6月末現在)

男：4,250人 世帯数：3,951世帯
女：3,711人
計：7,961人

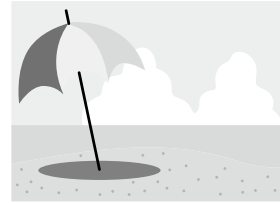
6月定例会

6月定例会で決まったこと	2 P
第2回・第4回臨時会で決まったこと	3 P
「米軍機緊急着陸に対する抗議」	3 P
編集後記	3 P
町政を問う 一般質問	4~13P
議会のうごき 議会ボランティア活動	14P
傍聴に行こう	14P

平成29年6月(第3回)定例会は、6月14日から16日の3日間の日程で行われました。

定例会では、議案15件を審議し、すべて原案どおり可決・同意・承認しました。一般質問では10人が登壇し活発な審議が行われました。

6月定例会で決まったこと



平成28年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第2号)
72億7925万円(3246万円増)
- 久米島町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
14億6482万円(257万円増)

条例の改正、制定

条例の改正 ※全員賛成

- 久米島町農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員定数条例について
農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、本条例を制定する必要がある。
- 久米島町行政手続条例の一部を改正する条例
行政手続法の一部を改正する法律(平成26年法律第70号)の施行及び、子育てワンストップサービス(児童手当、保育、母子保健、ひとり親支援)が平成29年7月からの運用に向けて全市町村に於いて開始されることから、それら手続きをオンラインで行う為、現行条例の改正が必要である。

一般審議 ※全員賛成

- 町道の認定について
町道の路線を認定するときは、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を得る必要がある。

契約 ※全員賛成

- 久米島火葬場・葬祭場建築工事(1工区)請負契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億4396万円
契約の相手 株式会社 儀間建設
- 久米島火葬場・葬祭場建築工事(2工区)請負契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 8100万円
契約の相手 株式会社 丸吉組

- 久米島火葬場外構工事請負契約
契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億0033万円
契約の相手 久米建設 株式会社

報告 ※全員賛成

- 平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書
- 専決処分の報告について
「平成28年度久米島縦断線道路改良工事(1工区)工事請負契約について」
- 専決処分の報告について
「平成28年度久米島縦断線道路改良工事(2工区)工事請負契約について」

承認 ※全員賛成

- 税条例等の一部を改正する条例
地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が平成29年4月1日から施行されることに伴い、久米島町税条例の一部を改正し、同日から施行する必要がある。
- 固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する条例
沖縄振興特別措置法第9条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令(総務省令)が平成29年4月1日から施行されることに伴い、久米島町固定資産税の課税免除の特例に関する条例の一部を改正する必要がある。

委員の選任・任命 ※全員賛成

- 久米島町固定資産評価審査委員会委員の選任
吉 永 安 克 氏
- 教育委員会委員の任命
高江洲 眞知子 氏

第2回臨時会で決まったこと

第4回臨時会で決まったこと

平成29年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第3号)
75億1269万円(2億3343万円増)

契約 ※全員賛成

- 平成29年度久米島縦断線道路改良工事(1工区)

契約の方法	指名競争入札
契約金額	7484万円
契約の相手	有限会社 山里土建

会期：平成29年5月26日

平成29年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第1号)
72億4679万円(3000万円増)

会期：平成29年6月29日

- 平成29年度久米島縦断線道路改良工事(2工区)

契約の方法	指名競争入札
契約金額	6750万円
契約の相手	国洋建設株式会社

- 平成29年度大原下線道路改良工事(1工区)

契約の方法	指名競争入札
契約金額	5425万円
契約の相手	株式会社 ひらた産業

- 儀間漁港第2防波堤整備工事(H29年度)

契約の方法	指名競争入札
契約金額	1億3478万円
契約の相手	株式会社 高良建設

抗議書

米軍による久米島空港米軍機緊急着陸に関する抗議を行った。

久米島空港米軍機緊急着陸に対する抗議書

平成29年6月1日12:58、久米島空港管理事務所に対し、国土交通省大阪航空局那覇空港事務所から航空機緊急着陸の連絡が入り、その2分後に、米国海兵隊所属のヘリコプター(シコルスキーCH-53E型)が、久米島空港北側21滑走路に緊急着陸した。その後同機は、管制の指示を仰ぐことなく、駐機場(エプロン3スポット)に移動し、停止した。

久米島空港は、定期航空便14便が毎日離着陸しており、当日も緊急着陸から1時間以内に、定期航空便JTA211便の着陸を予定していた。

今回の米軍機着陸は、幸いにも他の民間機の離着陸に影響が出ない場所に安全に停止し、火災や人身事故等がなかったため、当日の定期航空便の運航や空港管理に支障は出なかったが、着陸の連絡から僅か2分という短時間での緊急着陸であったことなど、定期便の離着陸の時間と重なった場合には、大きな事故を招きかねない危険性があった。

米軍機の事故や米軍属による事件が相次ぐ中、久米島町では、2005年にも米軍機が民間地に不時着しており、今回の緊急着陸もまた、久米島町民に大きな不安を与える結果となった。

よって我々は、今回の米軍機緊急着陸に対して厳重に抗議するとともに、早急なる原因の究明と公表、事故の再発防止と米軍機の安全管理の徹底を強く要求する。

平成29年6月5日

沖縄防衛局

局長 中嶋 浩一郎 殿

久米島町長 大田 治雄

久米島町議会議長 幸地 猛

編集後記

本町で暮らす若者たちは、高い割合で仕事に対して、不安を抱いている傾向にある。彼らの雇用形態は非正規で収入は低く生活も不安定な状況である。

そのことが非婚化、晩婚化につながり少子化に拍車をかけているのが危惧されている。又、雇用の質の悪化が本町の発展に支障になっているのではないかと。

安心して暮らしていただけるように、賃金アップや待遇改善などの環境を整えて行くことが重要だと思ふ。

若者が誇りと希望を持って生活ができる島であって欲しい。

(崎村)

広報委員

吉 饒 翁 崎 仲
永 平 名 長 村 村
智 正 昌
浩 弘 学 明 慧

質問と答弁の内容を要約して掲載しています。
※ここでは年号(平成)を省略しております。

問 専門職の採用を

答 将来に向け、検討



翁長 学 議員

翁長 本町には、開業医、共済医、獣医師が2名いる。今後畜産が伸びると思われる。各地で獣医師不足と言われ、将来の事を考え、行政で獣医師の採用を。

町長 町の定員管理の観点から、正職員としての獣医師の採用は難しいが、一般任期付職員として将来に向けて検討したい。

翁長 本町には1900頭余りの牛がいる。将来2000頭までの計画、牛の病気が、短期間に多く発生した例があり、ぜひ町として獣医師を早目に実現するように、計画を立てていただきたい。

産業振興課長 共済の担当獣医と直接話し共済と、テーブル一つにして今後進めて行く。

問 飛行機の遅延

答 定時出発の確保

翁長 町民の声として、最近、飛行機の遅延が多いと言われている。本町も琉球エアークミューターの株主であるので、会社側に助言が必要ではないか。

町長 琉球エアークミューター株式会社取締役会において、原因についての説明と改善を求めた所、定時出発の確保を図っていくとの説明があり、ダイヤ見直しの早期実行を求めていく。

翁長 要望はその都度やっていただきたい。飛行機の遅延に関して、観光客等のクレームはないか。

商工観光課長 直接的なクレームはない。路線バスは定時

運行という原則がありバス、タクシーの対応についての要望はある。



久米島空港



平良 弘光 議員

問 共同アンテナ 改修工事支援を

答 支援する必要がある

平良 本来情報通信の基盤整備は行政がおこなうべきことだと思ふ。現在の施設は40年が経過し老朽化が著しく、台風が襲来するたびに多額の修繕費が生じていて、今後の維持管理に大きな不安を残している。しかしながら多額の改修費用が必要になるため、これまでも先送りになっている。そこで行政からの負担金の支援を。

町長 テレビ等の難聴地域解消については、行政として支援する必要があると考える。島尻、宇江城集落の関係者と調整し支援内容について検討を進めていく。

企画財政課長 維持管理費のことを考えると早目に改修工事が出来ないか調整をしていきたい。

問 パークゴルフ場障害者割引を

答 検討する

平良 テニス場などを調べてみると、障害者本人と介助者

または付き添い人にも割引制度を適用しているところもあるが、この問題についてはいろんな角度から検討して頂きたい。

環境保全課長 今年度新しくできる9ホールの使用料金とあわせて検討していく。



パークゴルフ場

問 一周マラソンの復活を

答 可能か検討したい

平良 ていーだ橋から見る景観を活用するため、現在行われている久米島マラソンを時計回りにして一周マラソンへ

変更したらどうか。

町長 今後参加者、関係者と意見交換をしながら可能性について検討していきたい



つむぎ橋・ていーだ橋

問 学童保育を

答 早期開所に取り組み

平良 学童保育の固定概念に拘らず家庭での預かりが出来ないか検討したらどうか。

福祉課長 学童に関しては、運営基準等がある。又市町村でも条例を制定する必要がある。



吉永 浩 議員

問 心の健康対策を

答 実施に努める

吉永 ストレスチェック制度の実施は。

町長 産業医の確保困難で、年度内実施ができなかった。

吉永 職場の健康問題の半分は心に関するもの。未実施は労働安全衛生法の義務違反にあたるが。

町長 新人職員等に、朝礼、職務会議等を通じて相談の指示をしている。

吉永 できなかったことについて職員に対する説明は。

総務課長 事業所には義務化されているが、職員には受ける義務はない。

吉永 役場自体が義務を実施していないではないか。職員の健康の低下は、町民サービスの低下に繋がると考えるが。

町長 職員の健診受診率も低い。健康を自分で守れる環境づくり、法的に実施すべきものは実施に努める。

吉永 制度の大きな目的は、職場環境の評価である。復職支援、再発防止についても考えるきっかけになる。改めて実施を要望する。

問 統廃合の振り返りは

答 成果と課題を活かす

教育長 アンケート結果を町H

Pで公表。成果と課題を幼稚園運営や保育活動に活かす。

吉永 保護者には不安が残ったまま。今後も丁寧で具体的な説明を要望する。

問 酒害健康対策を

答 保健所と連携

吉永 アルコール対策の責務があるが。

町長 保健所等と連携して取り組みたい。

吉永 酒造会社との連携は。

町長 連携できる分はしている。

問 ふれあい公園のゴミ対策は

答 学校に協力依頼

吉永 ゴミ箱設置の検討は。

環境保全課長 遊具が出来てまだ1ヶ月足らず、状況をみながら検討。

吉永 看板の設置方法にも問題

があったのでは。

教育長 小・中学校全校で公共物の使い方の指導を依頼。

吉永 地域美化は行政だけではできない。町民全体に強く協力依頼してほしい。



ふれあい公園

問 バリアフリー化は

答 早くても12月

吉永 役場カウンターバリアフリー化の進捗は。

総務課長 工事ではなく、備品の調達になる。早くとも12月以降の予算執行。



盛本 實 議員

問 観光12万人の達成を！

答 知名度、認知不足の解消へ

盛本 観光振興基本計画の年

次のな需要予測を上回る勢いで観光入域客数は伸びてきている。しかし、その結果におこることなく次の目標に向かって誠心誠意取り組む必要である。今後どのように取り組み計画実現を図るのか。

町長 効果的なプロモーションの展開による知名度及び認知度の向上、航空座席の拡充、チャーター便の継続など誘客対策を観光協会及び関係者と連携を図りながら取り組む。

問 安住できる集落形成を！

答 集落支援員の配置検討

盛本 少子高齢化の加速により地域行政・社会的共同生活の維持、伝統文化の継承及び

その他行事等々が出来ない集落が増えている。町民の生活福祉の向上の面から早急な対策を講じる必要があるが。

町長 各区長を対象にアンケートを実施したが、ほとんどの字が「統廃合は望まない」との結果が出た。しかしながら人口減少や高齢化が著しい集落もある事から「字」のコミュニティを残しながら行政区の統廃合の検討や集落支援員の配置を検討する。

問 高校の持続的発展を！

答 高校魅力化推進の徹底

盛本 久米島高校の存続発展に向けて官民一体で一生懸命に取り組んできた。そのおかげで離島留学生も着実に増えて

きており取組結果は顕著に表れている。今後も久米島高校の定員数確保の為、更なる努力が必要と思われるが島内外への取組は。

町長 島内中学生及び保護者を対象に久米島高校の魅力についての説明会を開催し久米島高校への進学に繋げる。また、島外対策としては東京、宮城県仙台市においても入学説明会を実施する予定である。



県立 久米島高等学校

問 観光対策は

答 フクギ保護・町民の協力あり



喜久里 猛 議員



チュラフクギ

喜久里 チュラフクギは観光客に喜ばれているか。

町長 防風等による枝の欠損があり、樹勢も以前の様な勢いも無いことから、樹木医の診断を受けながら施肥や選定等樹勢回復につながる保護対策取り組んでいる。

喜久里 トライアスロン運営に町民の協力は得られているか。

町長 大会には、区長会、学

校などに協力を依頼し、270名のボランティアの協力を得ている。

問 人口増は

答 少子高齢化の厳しい状況

喜久里 久米島の人口について、町長の公約に人口増を掲げているが、その見通しはあるのか。

町長 第2次総合計画や地域創生総合戦略に掲げた施策を進めることで人口減少に歯止めをかける必要があります。

問 地元業者の影響は

答 十分対応できる

喜久里 県道の草刈りで、町内業者だけで指名入札が終わ

っているが、業者はどこか。

建設課長 備瀬建機が受注し、清掃作業を実施している。

喜久里 地元業者だけで落札して、本当に赤字で頭抱える状態にならないか。

町長 県から年間の指示回数、6回から4回に減り、70cm以上でないと刈り取りはできない。見苦しいときはすぐ対応したいため、このような経緯になっている。





仲村 昌慧 議員

問 給付型奨学金制度は

答 前向きに進めたい。

仲村 豊見城市が県内市町村で初めて、生活保護世帯で大学進学する学生を対象に、返済義務のない給付型奨学金制度を始める。また、今帰仁村も検討している。本町でもこの制度を導入する考えはないか。

教育長 生活保護世帯の進学を希望する生徒を対象とした給付型の奨学金制度の導入については、財源の恒常的確保が見通せない現状においては、大変厳しい。

仲村 町長は公約の中で、町単独による奨学金制度を利用して、教育の格差是正を図るとしているが、この件についてはどう考えるか。

町長 島の将来を担う子どもたちの環境づくりに取り組むことの項目としてこの件も入れている。該当するのが何

名いるか試算し前向きに進めていきたい。

問 学校給食の無償化は

答 内容を精査

仲村 町長は過去の答弁で、「給食費の無償化については事務方に指示をしながら任期中に改善できるように取り組んでいく、可能な限り頑張っていきたい。」と答えている。任期中に無償化できるか伺う。

町長 これまで、予算調整の中で、この件は議論してきた。財源の確保がしっかりできれば任期中にやりたい。任期最終年度の予算編成まで調整があるので、それに向けて内容を精査しながら考えていきたい。

問 子ども議会の開催を

答 開催に向け連携

仲村 本町議会では、議会活性化の方策の一環として、子ども達に議会への関心を深めることを目的に、子ども議会開催への取り組みを行うことになっている。子ども議会開催について、町長・教育長の見解を伺う。

町長 将来の島の担い手を育成する上で、大変重要である。開催に向けて議会事務局や教育委員会と連携したい。

教育長 実施するには、担当部局から校長連絡協議会等の中で、趣旨を説明した上で、各学校の回答を踏まえ開催に向けて前向きに進める。

問 儀間川の浚渫・改修は

答 優先的に対策を



赤嶺 秀徳 議員



儀間川

赤嶺 儀間川は、現在水量もなく水が淀み悪臭がするなど最悪な川となっている。那覇市内の国場川さえ蘇生し浄化に転じていることから、儀間川の汚濁は行政の怠慢ではないか。現在の状況を改善するための浚渫改修計画は。

町長 今後も、河川の点検調査を実施し、危険性及び緊急性の高い箇所から優先的に対策を行っていききたい。

問 子供の貧困調査は

答 関係課と調整

赤嶺 北中城村が子供の貧困について調査を行ない様々な問題が出て来たと報道がある。本町における実態調査は。

町長 この貧困の問題はあるので、調査できるか、担当課と調整する。

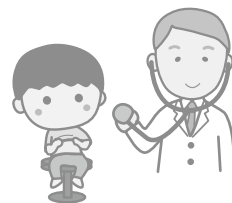
問 医療費窓口無料化は

答 新たな制度で検討

赤嶺 県は子供の医療費助成事業について、市町村などと話し合いを進め見直された新たな制度を来年10月にも導入する考えである。本町の新制度への対策は。

町長 子どもの貧困対策など

低所得者の観点からも現物給付対応していく方向で、給付要件は、見直しされる新たな制度で検討する。



問 防災士認証登録者は

答 把握していない

赤嶺 県内の防災士認証登録者数が全国で最も少ない登録者数であるが、本町の登録者の実態は。

町長 防災士の資格は、申請や届出をするものではないため、町内の有資格者数は、把握していない。



玉城 安雄 議員

問 下水道区域外の敷設は

答 別整備事業で検討する

玉城 公共下水道の区域外の山城地区、球美の里周辺の下水道整備は。

町長 区域外の敷設は本事業では厳しい。別の事業で検討する。

玉城 町民として公平なサービスを受ける権利があるとおもうが。

上下水道課長 その地区は以前からも要請がある。合併処理浄化事業というのでできないか調査中である。

町長 将来的には区域指定をめぐし、県との調整を進める。

問 児童公園を

答 30年度に検討する

玉城 ふれあい公園に大型遊具が設置され地域の児童に喜ばれている。仲里地区でも児童公園含め必要だと思うが。

町長 仲里改善センター跡地に、30年度予算で取り組めるか調査の指示をだし、調整している。

玉城 子育て支援の面からも必要な施設である、前向きに取り組んでほしい。



仲里改善センター跡地

問 認定こども園は

答 子供子育て会議で審議中

玉城 幼稚園と保育園の機能を備え幼保一元化を目的とした認定こども園への移行について当局の見解を伺う。

町長 久米島町子供子育て会議に諮問し、ニーズ調査、先進地視察を行い審議中である。

玉城 認定こども園への移行ありきで調査しているのか。

福祉課長 本町において保護者のニーズや制度の沿った教育、保育提供体制を構築するうえで必要不可欠である観点から、協議を行い調整する目的で諮問している。協議によって方向性を決めていく。

玉城 認定こども園には、幼保連携型、保育園型、幼稚園型、地方裁量型と4つの型があるが移行するとした場合本町の考えは。

福祉課長 本町としては幼稚園と保育所が連携している幼保連携型で考えている。

玉城 保護者向けのアンケート結果も踏まえ、説明責任も果たししっかりした形で取り組んでほしい。

福祉課長 現在集計中である。結果が出次第公表し説明責任を果たす。

他にもこんな質問

問 児童保育の必要性について

問 人口減少対策は



喜久村 等 議員

問 駐車場の増設を

答 地域住民と協議する



久米アイランドホテル向い

喜久村 イーフ地区の久米アイランドホテルの向かい（海側）の所に、駐車場の増設はできないか。

町長 駐車場の増設について、観光業や飲食業が集中するイーフ地区においては、以前から公共駐車場の増設を要望されている。場所について

は、その箇所を含めて地域住民と協議しながら検討する。

問 健康遊具の設置を

答 公共施設を中心に

喜久村 高齢者用の健康遊具を久米島町内各地区のゲートボール場に、高齢者の健康増進、又は、健康維持のために、高齢者用の遊具の設置はできないか。

の公共施設で高齢者が利用しやすい場所を中心に、今後設置を検討する。

町長 健康遊具には種類があり高齢者の健康づくりのため設置する公園がふえてきており、最近話題となっている。本町でもパークゴルフ場など、数カ所の公園等に健康遊具を設置している。各地区のゲートボール場への健康遊具の設置については、町の管理下がない場所も多いため、公園等



高齢者遊具の設置例



棚原 哲也 議員

問 アーサ虫の根絶対策は

答 県の協力を仰ぎ実施

棚原 アーサ虫の防除対策に取り組んで何年経過しているか。
環境保全課長 県との調整が22年です。その以前から発生している。

棚原 県の防除対策予算は確保できているか。

環境保全課長 県の予算は付いてません。県にも予算の要求をしていきたい。

棚原 業者に委託し発生場所の確認を行っている。と答弁だが島内に拡散している報告はないか。

環境保全課長 内陸部の西銘、真泊、あちらこちらで発生していると思われる。

棚原 年間アーサ虫被害に遭っている人がどれくらいいるか把握されているか。

環境保全課長 人数的な被害状況は把握していない。

棚原 全面根絶には県、国を巻き込んで取り組まなければ根絶はできないと思う。

町長 県議にも要請しており関係機関と調整しながら進めたい。

問 畳石に手摺り・スロープ

答 設置は県と調整

棚原 24年の同じ質問の答弁で関係課と調整し設置に向けて取り組むとの答弁。以降県との調整はされたか。

商工観光課長 確認等行っていない。

棚原 町長で指導し早期の設置の考えは。

町長 要望を受け調整するが、非常に危険性も伴う。安全確保し、調整を進めたい。

問 真泊ターミナルの利活用は

答 複数の団体が利用

棚原 25年から創業し27年撤退した企業に何名雇用されていたか。

総務課長 詳細は把握していません。調査し回答したい。

棚原 新規企業の誘致の際のチェックが甘かったのではないか。

町長 指摘のとおり、一例として失敗例等もあり、慎重に誘致にあたって臨んでいきたい。

棚原 今後の利用久米島漁協と風の帰る森と答弁であるが。

総務課長 基本的に漁協と風の帰る森の2か所、他倉庫として使用の交渉もあり今後調整する方向で検討を進める。



畳石



真泊ターミナル

■平成29年5月 ■■■■■■■■

2日・ふれあい公園「遊具安全祈願」
セレモニーに副議長出席

9日・南部地区市町村議会議長会
「管内離島行政視察・臨時総会」に議長出席

- 10日●広報委員会
- 10日・久米島和牛改良組合総会に正副議長出席
- 14日・トライアスロン懇親会に議長出席
- 17日・県土木建築部と南部市町村との行政懇談会に議長出席
- 23日・久米島商工会通常総会に議長出席
- 24日・久米島紬事業協同組合通常総会に議長出席
- 24日・上勝町「いろどり代表取締役横石氏講演会」に議長ほか出席
- 24日・沖縄県町村監査委員協議会定期総会に議員出席
- 26日●議会運営委員会 ●第2回臨時会
●議員全員協議会
- 27日・「J A久米島支店まつり」に議長ほか出席
- 29日・宜野湾市議会行政視察に議長出席
- 29日・久米島産業まつり実行委員会に議長出席
- 30日・全国町村議長・副議長研修会に正副議長出席(～6/1)

■平成29年6月 ■■■■■■■■

- 5日・防衛局抗議要請「久米島空港米軍機緊急着陸」に議長出席
- 7日●議会運営委員会
- 7日・平成29年度久米島町民俗芸能保存会定期総会に議長出席
- 14日●6月定例会
- 15日●6月定例会
- 16日●6月定例会 ●広報委員会
●ボランティア作業(場所:公立久米島病院施設草刈)



【ボランティア作業】
(場所:公立久米島病院施設草刈)

【ボランティア作業】
(場所:公立久米島病院施設草刈)



- 17日・久米島郷友会連合会との意見交換会に副議長ほか出席
- 22日・全国離島振興市町村議会議長会総会に議長出席
- 23日・町慰霊祭に議長ほか出席
- 29日●議会運営委員会 ●第4回臨時会
●議員全員協議会
- 30日・なかざと交流会に議長出席
- 30日・平成29年久米島町観光協会通常総会に副議長出席

■平成29年7月 ■■■■■■■■

- 2日・球美・久米島西中運動会に議長ほか出席
- 3日・沖縄県町村議会議長会臨時総会に議長出席
- 6日・楽天イーグルス応援ツアーに議長出席
- 6日・全国和牛能力共進会沖縄最終予選会に副議長ほか出席
- 10日●議員全員協議会
- 11日・夏の交通安全出発式に議員出席
- 12日・町民葬実行委員会に議長出席
- 13日・全国離島振興市町村議長会総会に議長出席
- 14日・J T A 創立50周年感謝の集いに副議長ほか出席
- 15日・火葬場起工式に副議長ほか出席
- 17日●議員全員協議会
- 19日・商工会地元産使用要請に議長出席
- 21日・県農林水産部と南部市町村との行政懇談会に議長出席
- 23日・「山元大臣」の空港出迎えに議長ほか議員参加
・久米仙杯パークゴルフ大会に副議長ほか出席
- 24日・県産品優先使用要請に議長対応
- 26日・故大田昌秀氏県民葬に議長ほか出席
- 29日・故大田昌秀氏町民葬に議長ほか出席

議会の傍聴へ行こう 次回定例会は 9月14日(木)・15日(金) 開会予定



傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。今、まちづくりがどのように行われているか、町民、議会、役場(執行部)みんなで情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。



仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでご覧いただけます。

※開会してからは、議場への入室ができませんので、お気をつけください。
(途中休憩がある場合は、入室可能です。)